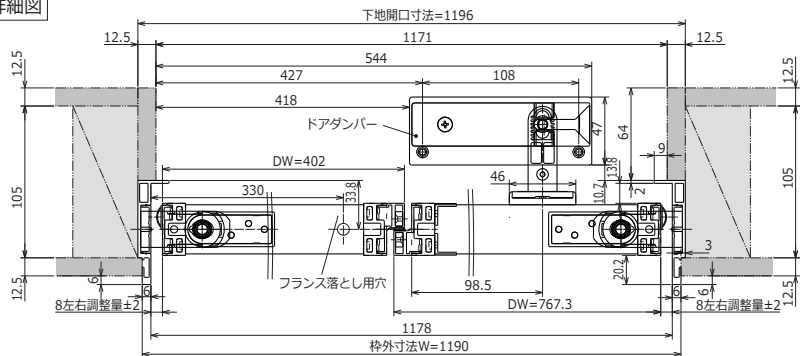


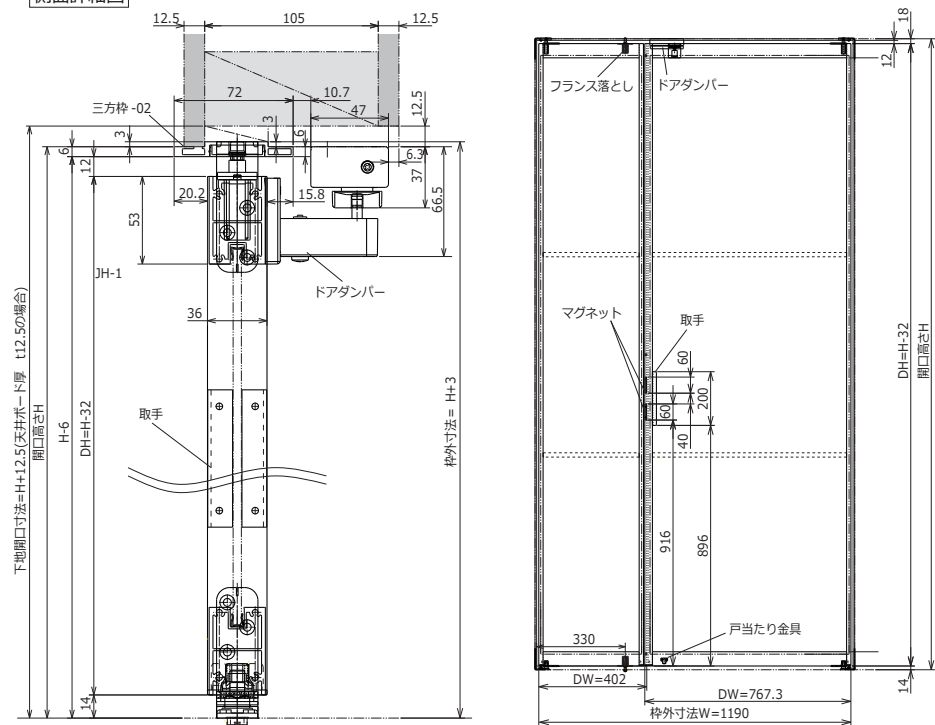
2 寸法図

※右勝手

上面詳細図



側面詳細図



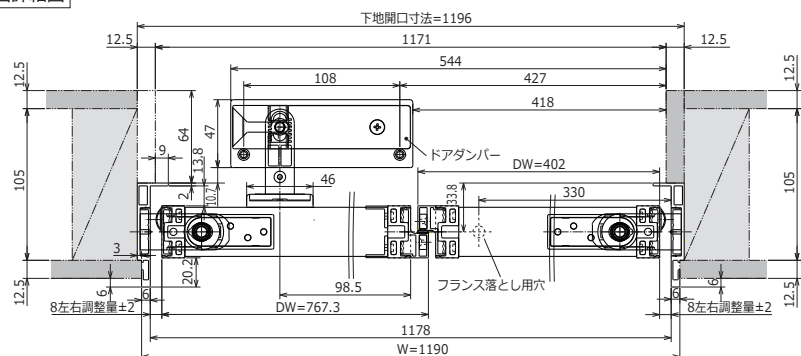
枠外寸法		
H		W
最大	2500	1190
規格	2350	
最小	1800	

- ※幅方向に対しての特注注文は受け付けておりません。
- ※フランス落としては扉裏面に付いています。
- ※点線は横棧有デザインの横棧位置を示します。

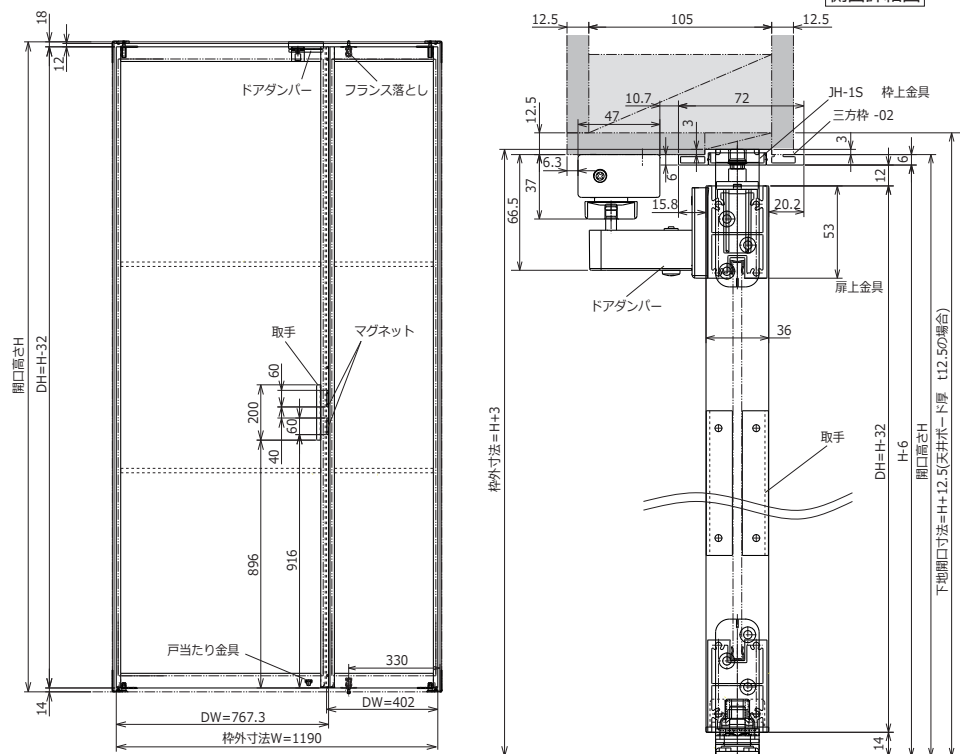
※注意※
石膏ボードは厚さ 12.5mm とすること。
下地胴縁・上枠は 105×45 とすること。

※左勝手

上面詳細図



側面詳細図



枠外寸法		
H		W
最大	2500	1190
規格	2350	
最小	1800	

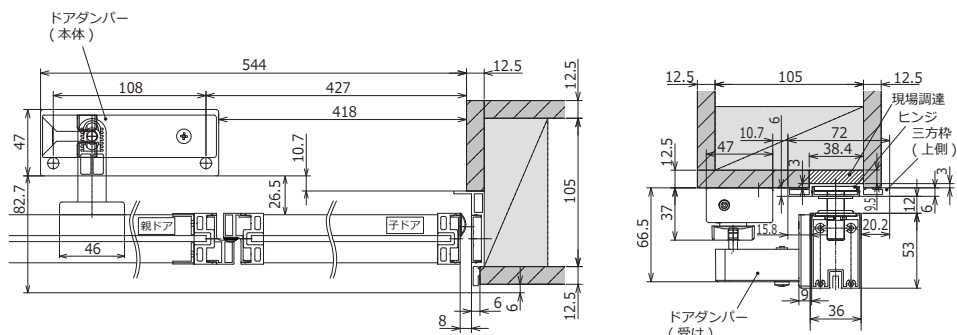
※幅方向に対しての特寸注文は
受け付けておりません。

※フランス落としては扉裏面に付いています。

※点線は横棧有デザインの横棧位置を示します。

※注意※
石膏ボードは厚さ 12.5mm とすること。
下地胴縁・上枠は 105×45 とすること。

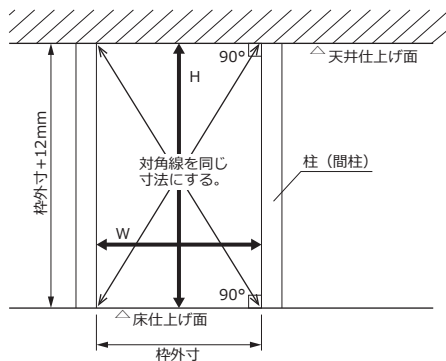
《ドアダンパー詳細》



3 設置前の準備

《設置前のご注意》

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺は必要な場合は現場調達してください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。
- 枠の固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。吊元側は補強桧木をダブルにしてください。扉の重みに壁が耐えられず、建具が床をする場合があります。

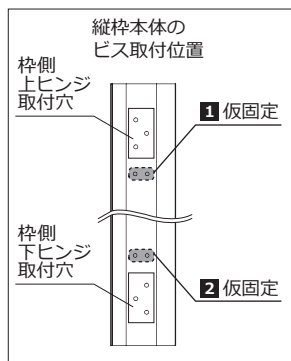
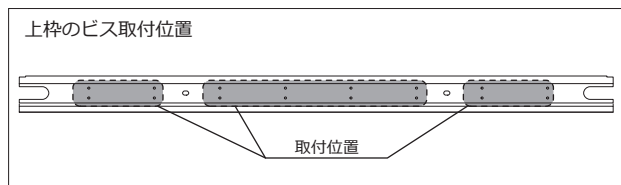
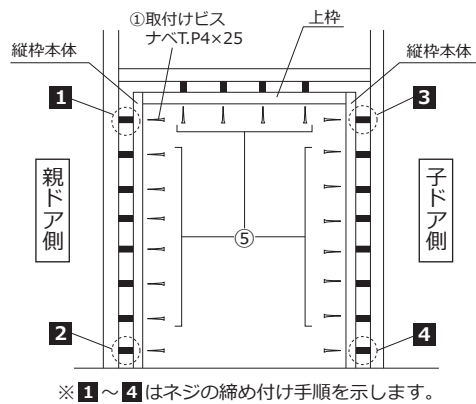


- 枠の寸法が守られないとドアの吊り込みが不安定となり、ドアの脱落・落下の原因となります。
- 寸法は2.寸法図にてご確認ください。

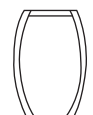
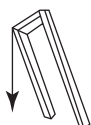
4 設置手順

1. 開口部への枠の取付け

- ①縦枠を開口部にはめこんで親ドア側の枠の上部(1)を確認して仮固定してください。
- ②下げ振り等を使って垂直をだしてから、親ドア側の枠の下部(2)を仮固定してください。
- ③水準器等で上枠の水平を見ながら子ドア側の上部(3)を仮固定してください。
- ④下げ振り等を使って垂直をだしてから、子ドア側の下部(4)を仮固定してください。
- ⑤上枠を水平に取付け、親ドア側・子ドア側を本固定してください。

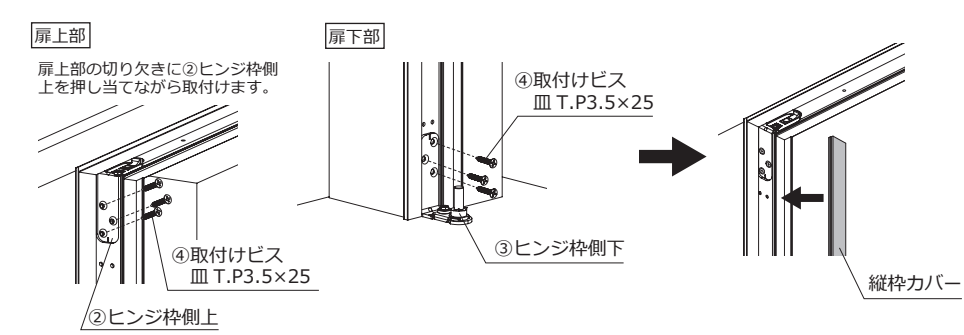


- 枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。水平・垂直が出ておらず、下図のようなことがあった場合、扉が閉まらない原因となります。
- 水平・垂直が出ない場合は木工ボンドを塗ったパッキンベニヤ(現場調達)等を入れて必ず調整を行ってください。
- RC納まりにおけるアルミ枠取付けネジ(テクスビス・ピラスビス等)は現場調達をお願い致します。



2. 縦枠カバーの取付け（ホワイト / ブラックフレームの場合）

※以下、全て左勝手仕様の場合です。
枠の上下に枠側ヒンジを取付け、縦枠カバーを取付けます。

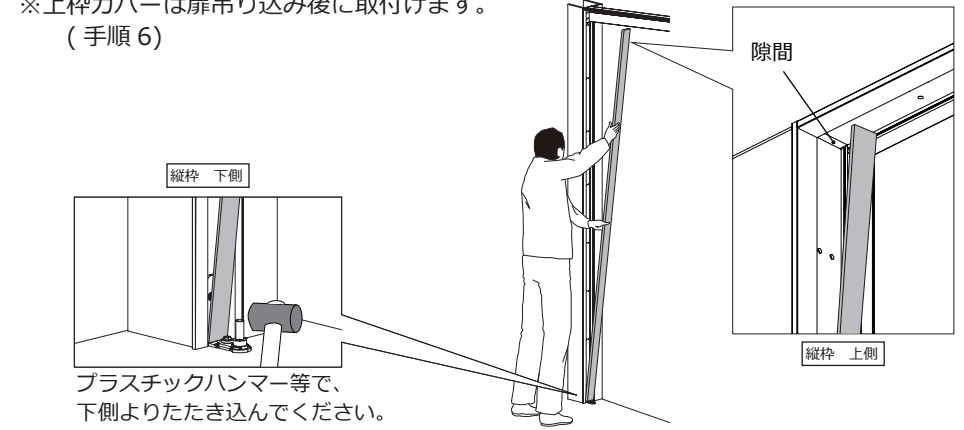


○ 一度カバーを取付けてしまうと、取外しができない為、くれぐれもご注意ください。（※取外すと再使用はできません。）

■ 縦枠カバーの取付け方

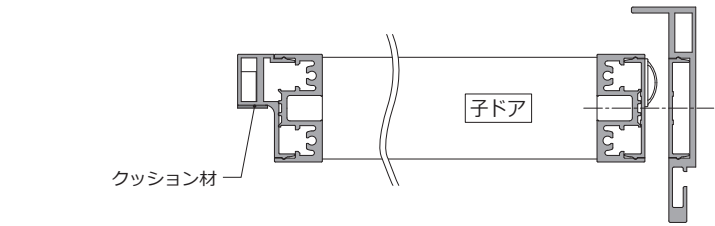
縦枠カバーを、縦枠の下側に差し込みます。

※左右両方の枠に取付けてください。
※上枠カバーは扉吊り込み後に取付けます。
（手順 6）



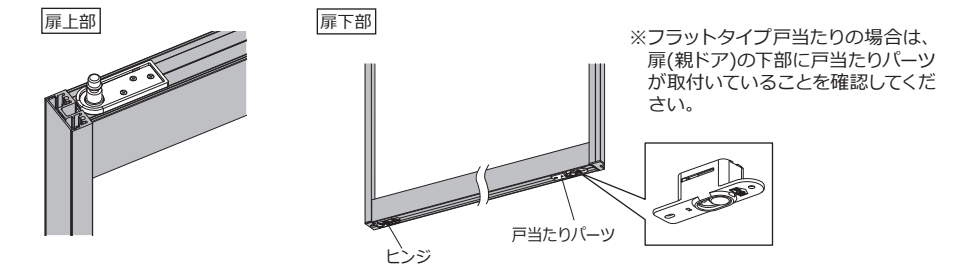
3. クッション材の取付け

子ドアの縦枠にクッション材を取付けます。



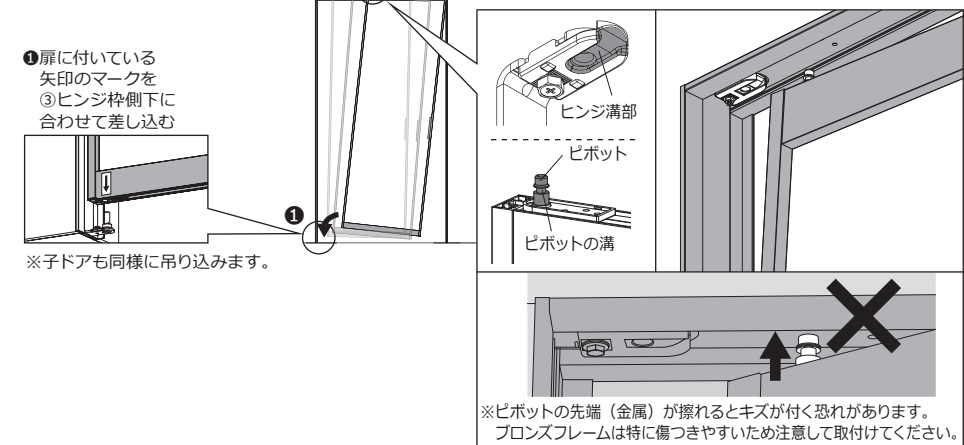
4. 扉（親ドア・子ドア）の吊り込み

①扉(親ドア・子ドア)の上・下にヒンジが取付いていることを確認します。



②扉(親ドア・子ドア)を吊り込みます。

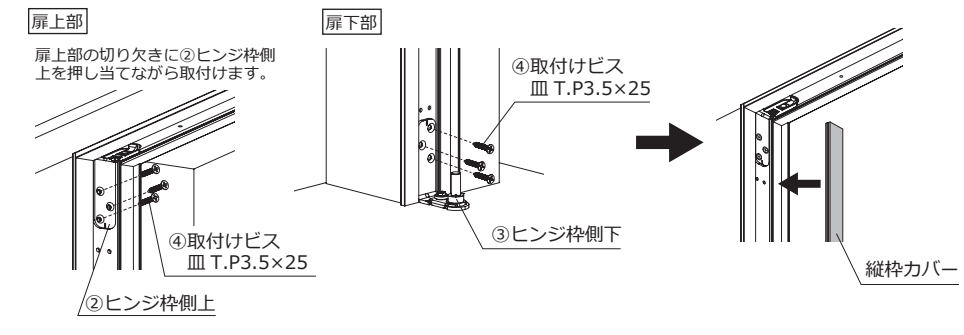
《ヒンジ枠（上下）側》



縦枠カバーを必ず取付けてから、扉を取付けてください。

2. 縦枠カバーの取付け（ブロンズフレームの場合）

※以下、全て左勝手仕様の場合です。
枠の上下に枠側ヒンジを取付け、縦枠カバーを取付けます。

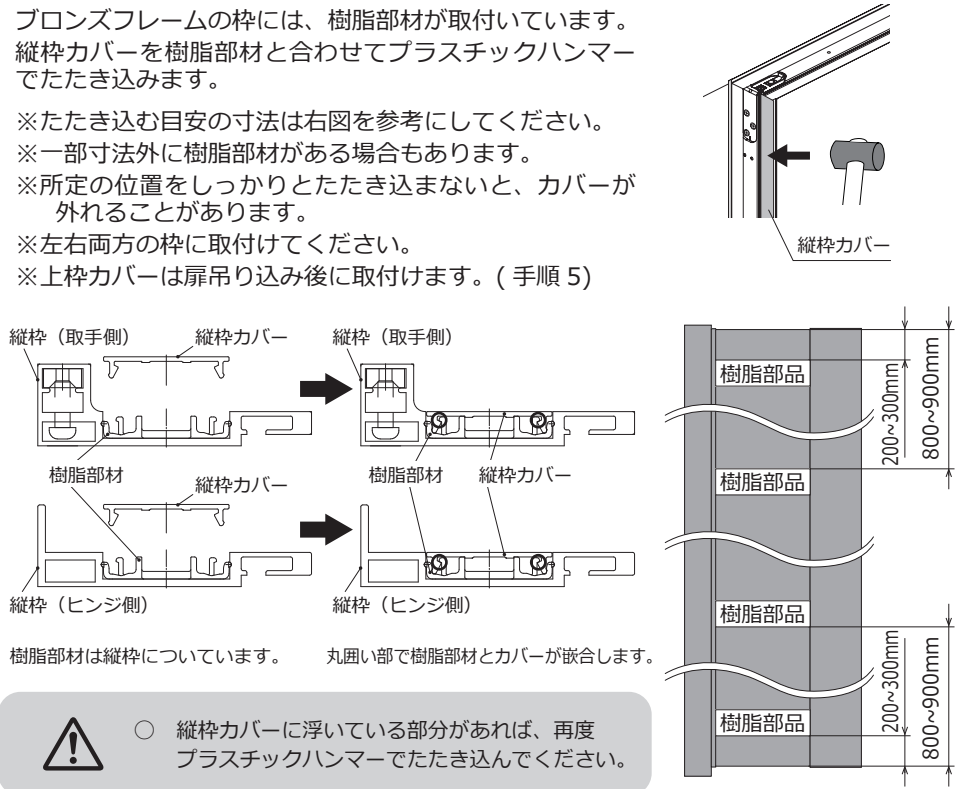


○ 一度カバーを取付けてしまうと、取外しができない為、くれぐれもご注意ください。（※取外すと再使用はできません。）

■ 縦枠カバーの取付け方

ブロンズフレームの枠には、樹脂部材が取付いています。
縦枠カバーを樹脂部材と合わせてプラスチックハンマーでたたき込みます。

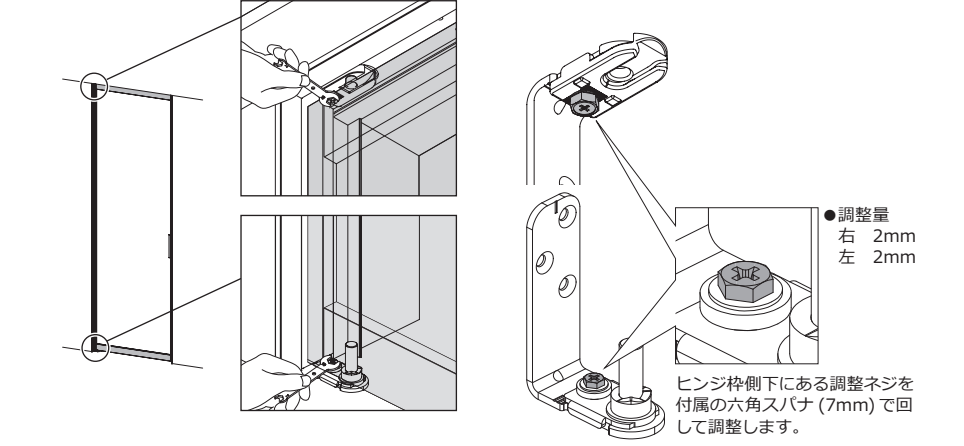
※たたき込む目安の寸法は右図を参考にしてください。
※一部寸法外に樹脂部材がある場合もあります。
※所定の位置をしっかりとたたき込まないと、カバーが外れることがあります。
※左右両方の枠に取付けてください。
※上枠カバーは扉吊り込み後に取付けます。（手順 5）



○ 縦枠カバーに浮いている部分があれば、再度プラスチックハンマーでたたき込んでください。

《ヒンジ枠（上下）側》

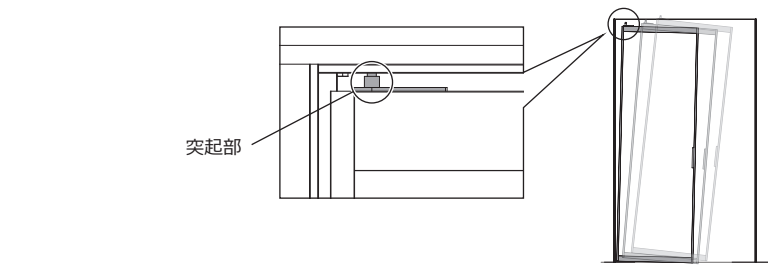
③②ヒンジ枠側上、③ヒンジ枠側下で扉の左右調整を行います。



④扉の位置が決まったら、調整ネジを締めて固定してください。

《扉の外し方》

扉上部に取付いているヒンジの突起部分を押し下げて、扉上部をスライドさせながら取り外します。



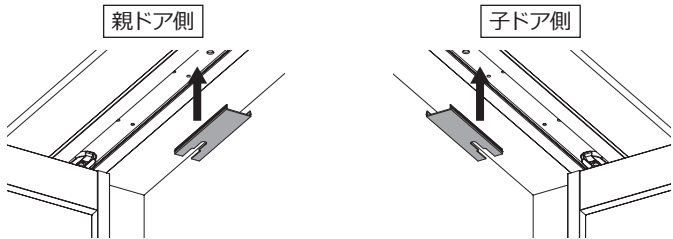
左右調整が終わるまで、上枠カバーは取付けないでください。

5. 上枠カバーの取付け（ホワイト / ブラックフレームの場合）

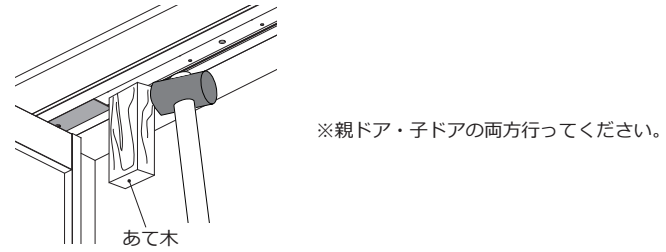
- 上枠カバー取付け前に、扉の建付、枠のたおれ、たいこ、つづみ、傾き、ねじれがないか確認してください。
- 上枠カバー取付け後は建具の取外しが行えません。ご注意ください。
- ドアダンパーの作動確認を行ってください。
- あて木、プラスチックハンマーなどでアルミフレームを傷つけないように注意してください。



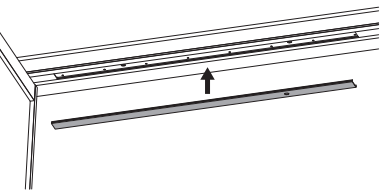
①U字加工のある枠カバーを、吊り元から少しはなした所で取付けます。



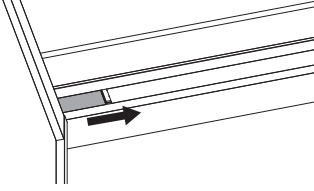
②取付けた枠カバーにあて木をし、プラスチックハンマー等で叩いて吊り元までスライドさせます。



③最後に、U字加工されていない枠カバーを取付けます。



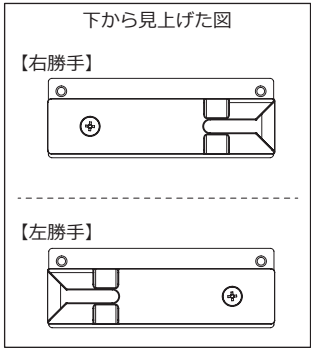
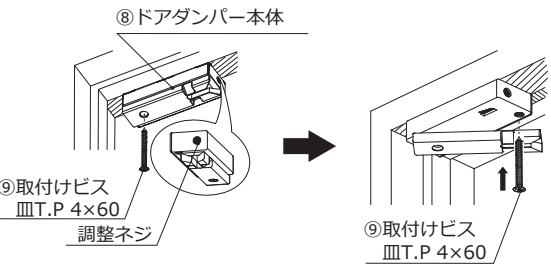
④枠カバーどうしに隙間が出来た場合は、U字加工されている枠カバーを動かして、隙間をなくしてください。



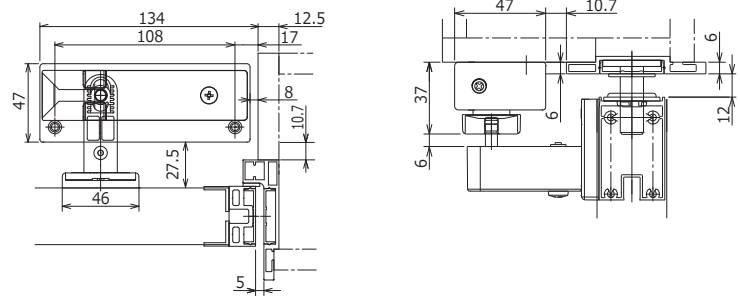
6. ドアダンパーの取付け

《本体の取付け》

- 本体を取付けます。
- ※ 扉を開けて行ってください。
- ※ 本体には左右があります。

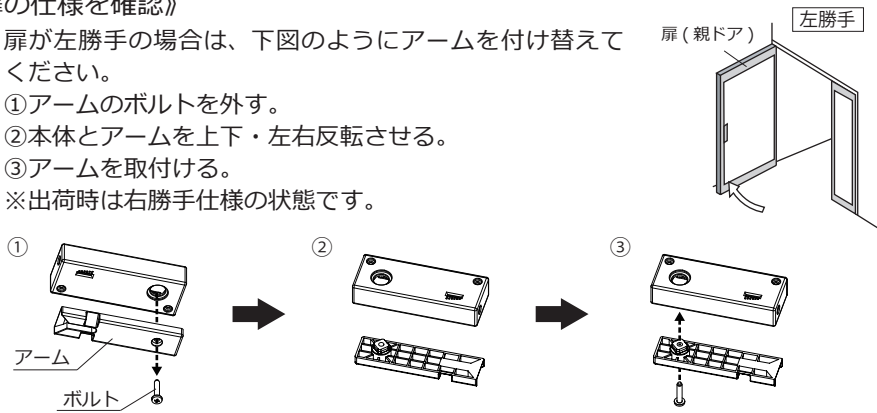


《取付け寸法》



《扉の仕様を確認》

- 扉が左勝手の場合は、下図のようにアームを付け替えてください。
- ①アームのボルトを外す。
- ②本体とアームを上下・左右反転させる。
- ③アームを取付ける。
- ※出荷時は右勝手仕様の状態です。

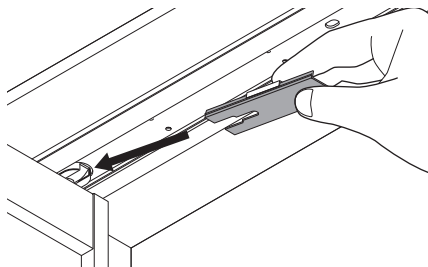


5. 上枠カバーの取付け（ブロンズフレームの場合）

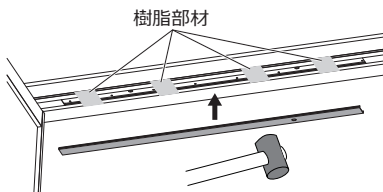
- 上枠カバー取付け前に、扉の建付、枠のたおれ、たいこ、つづみ、傾き、ねじれがないか確認してください。
- 上枠カバー取付け後は建具の取外しが行えません。ご注意ください。
- ドアダンパーの作動確認を行ってください。
- あて木、プラスチックハンマーなどでアルミフレームを傷つけないように注意してください。



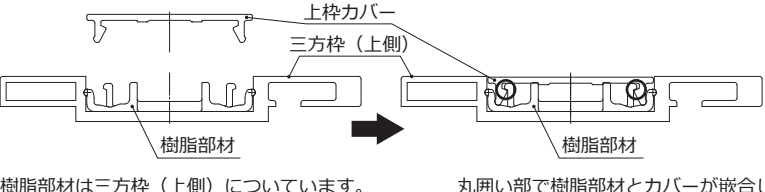
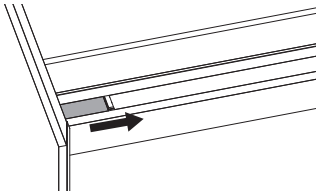
①樹脂部材が付いたU字加工のある枠カバーを、吊り元付近に斜めから入れ、取付けます。



②ブロンズフレームの三方枠（上側）には、樹脂部材がついています。枠カバーを樹脂部材と合わせてプラスチックハンマーでたたき込みます。※所定の位置をしっかりとたたき込まないと、カバーが外れることがあります。

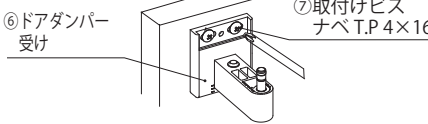


③枠カバーどうしに隙間が出来た場合は、U字加工されている枠カバーを動かして、隙間をなくしてください。

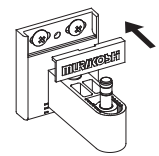


《受けの取付け》

①あらかじめ開いている下穴に受けを取付けます。



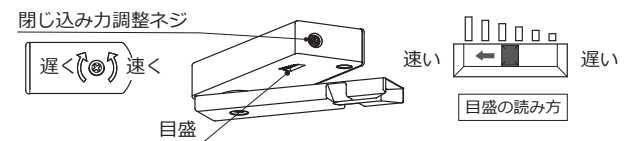
②調整後にカバーを取付けます。



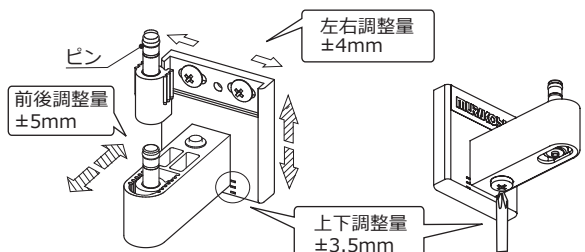
- ※ビスの位置に芯材があることを確認してください。
- ③扉を開閉して、扉がゆっくりと引き込まれるか動作確認をしてください。

《ドアダンパーの調整方法》

強弱調整（扉閉じ込み力調整）



位置調整（3次元調整）



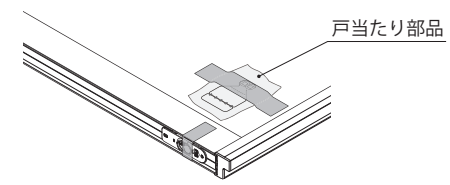
7. 戸当たり部品の取付け

○フラットタイプ戸当たり

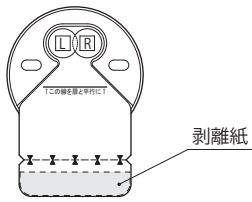
- ※以下、全て左勝手仕様の場合です。（右勝手仕様の場合は反転してください）
- ※フラットタイプ戸当りは扉の調整後に取付けてください。

《受けの取付け》

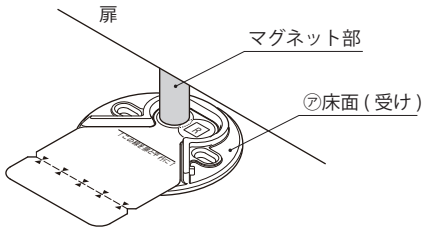
①扉から戸当たり部品を外します。



②型紙シール裏面にある両面テープの剥離紙をはがします。

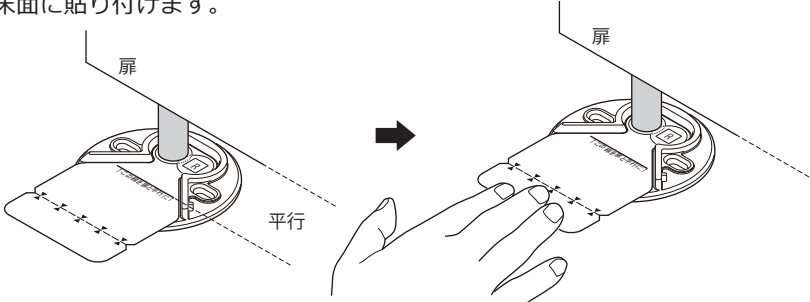


③型紙シールのLが記載されている部分に本体のマグネット部を取付けます。
※右勝手の場合はRに取付けてください。

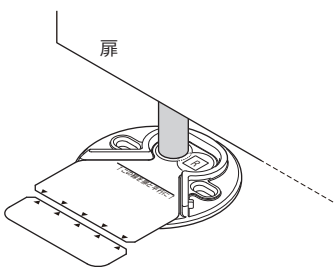


④任意の開閉角度位置まで扉を開けます。

⑤扉の下部と型紙シールの線が平行になるようにし、剥離紙をはがした両面テープを床面に貼り付けます。

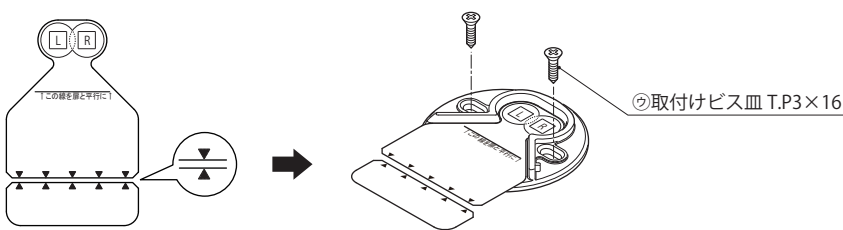


⑥扉を動かし、型紙シールのミシン目から下を切り離します。



⑦扉を閉めて、戸当たりから一度離します。

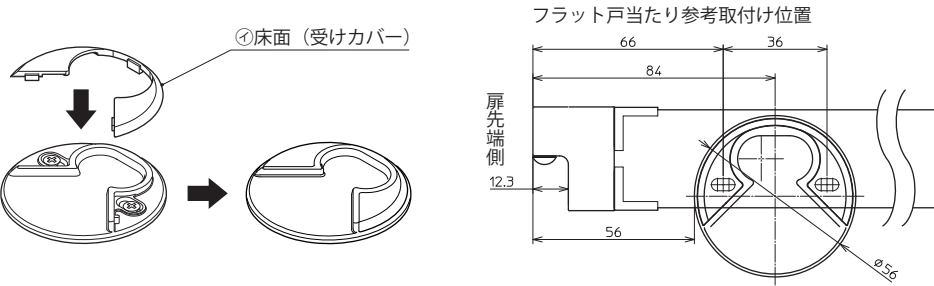
⑧切り離れた施工治具と受けに付いたままの施工治具の「▲」を合わせて取付位置を確認し、⑨取付けビス皿 T.P3×16 で固定します。



⑨型紙シールを剥がし、下記「フラット戸当たり参考取付け位置」と大きなズレがないか確認してください。

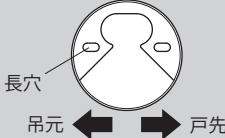
扉を開閉した時に戸当たりが正常に作動していることを確認してください。

その後、受けカバーを取付けてください。



○ 床面から扉の下端までの隙間が14mmを超えると磁石の反応が弱くなり、戸当たりが作動しません。その際は受け金具の下に木片などを入れて高さ調節してください。

○ 扉のロックが弱い/強い場合は受け金具の位置を取付け部長穴で微調整できます。
受け金具を戸先に寄せる→ロック弱くなる
受け金具を吊元に寄せる→ロック固くなる。



○ ねじの締め過ぎは部品の変形・破損の原因となるため、最後の締め付けは必ず手回しドライバーを使ってください。

○ 取付けねじは床面に対して垂直に打ってください。ねじが斜めになると受けの位置がずれたり、カバーが取付かない場合があります。

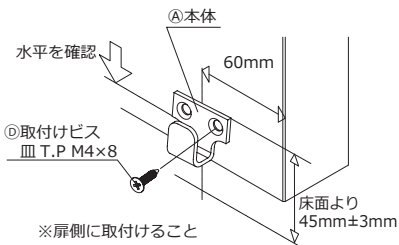
○ 本体のマグネット部先端に金属片などの異物を付着したまま開閉すると、フラット戸当りに傷を付けてしまうことがありますのでご注意ください。

◎フックタイプ戸当たり

※以下、全て左勝手仕様の場合です。

《本体の取付け》

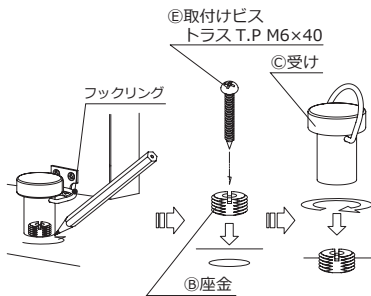
- ①取付け高さは、床面より45mmをプレート上端に合わせます。
- ②親ドアの戸先から70mmの間に位置決めをしてください。尚、扉の中央付近に取付けると扉が変形・破損する場合がありますので避けてください。
- ③水平を確認しながら付属ねじ2本で固定します。



《受けの取付け》

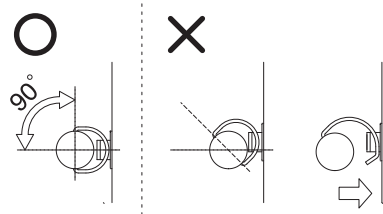
※木床の場合

- ①受け本体を床に置き、フックリングを扉側のプレート位置に合わせます。この状態で扉(親ドア)を開き、取付位置を確認します。
- ②扉(親ドア)を開けたときにレバーハンドル等が壁に当たらず適当な隙間(10mm以上)が確保される位置としてください。
- ③受け本体から床面取付金具を外して①で決めた位置に付属ねじ1本で固定します。
- ④受け本体を金具にねじ込んで、しっかりと固定します。



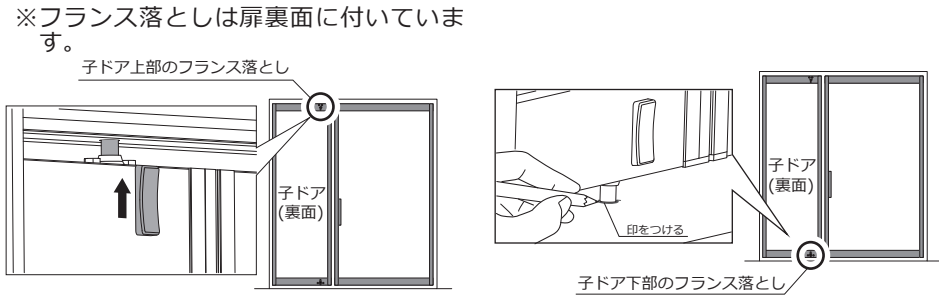
《取付け完了後の確認事項》

- 戸当たりが扉(親ドア)に当たっている状態で、レバーハンドル等が壁に接触せず、適当な隙間(10mm以上)があること。
- 本体がしっかりと固定され、床面に密着していること。
- 戸当たりのフックが扉(親ドア)のプレートに確実にかかること。
- フックリングがフックプレート(扉面)に対し90°の方向に固定され、確実にフックがかかること。

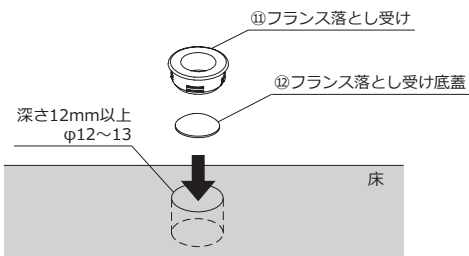


8. フランス落としの取付け

- ①上枠カバーにフランス落とし設置用の穴が開いているので、そこにフランス落としを差し込んで、子ドア上部のフランス落としを固定します。
※フランス落としは扉裏面に付いています。
- ②子ドア下部のフランス落としを下げ、下部フランス落としを付ける位置に印を付けます。



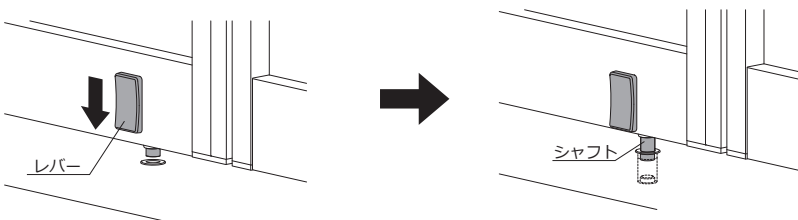
- ③子ドア上部のフランス落としを外し、印を付けた位置に深さ 12mm 以上 φ12 ~ 13 の下穴を開け、⑫フランス落とし受け底蓋・⑪フランス落とし受けを取付けてください。



○ 穴の深さは12mm以上開けてください。
穴が浅い場合は、フランス落としがしっかりと固定できない場合があります。

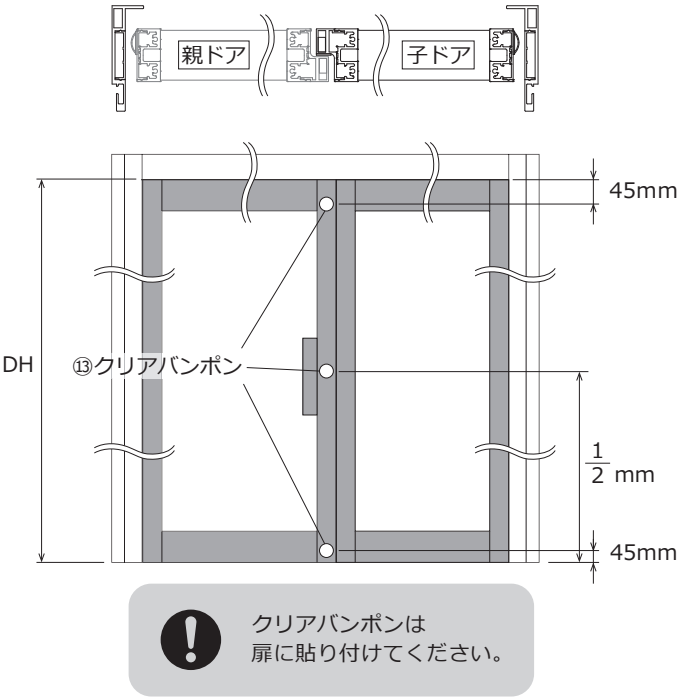
○ フランス落とし受けを設置後に位置調整する場合は、下穴を大きめに開けてください。大きく開けた場合は接着剤等で固定してください。
(※接着剤等は現場調達をお願い致します。)

- ④最後に子ドア上部と下部のフランス落としをしっかりと固定し、親ドア・子ドアに異常がないか確認を行ってください。



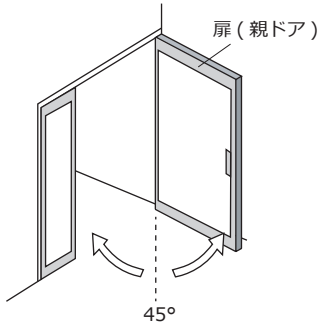
9. クリアバンポンの取付け

子ドアと親ドアの召し合わせ部分に貼り付けてください。



5 ヒンジについて

この商品は、扉が自然に開閉する機構になっており、45°を境に自然と閉じ方向・開き方向に動作します。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

